

aFrame electrorganic percussion

FlaCon アプリケーションマニュアル Windows 版 for Ver 1.20 JA



目次

1. 画面構成	3
2. 接続 / 切断 / プリント	4
3. エディット	6
4. ミュート機能	8
5. グループ・キーロック機能	9



1. 画面構成

以下、画面構成を示します。



基本構成は aFrame 本体各部と同じですが、エンコーダーは << ボタンでデクリメント、>> ボタンでインクリメント動作します。また、ミュートは電源ボタンではなく、専用の MUTE ボタンを押すことでミュート / ミュート解除が可能です。

各ボタン操作による基本動作については aFrame クイックスタートマニュアルを参照下さい。

本アプリはクイックスタートユースを想定した簡易リモートコントロールアプリです。リファレンスマニュアル記載のボタン同時押しによるパラメータエディット動作には対応しておりません。

以降、本アプリケーション特有の操作について記載しております。



2. 接続 / 切断 / プリント

[接続 / 切断]

下表にボタンの状態とアプリとの接続状態についてまとめます。



[プリント]

Step 3の aFrame とアプリ接続中はプリントボタンが有効です。 プリントボタンを押すことで、現在の音色情報、全グループの音色情報、各音色のパラメーター設定値をテキストファイルで出力することが可能です。

😑 😑 😑 printLog.txt 🗸			
<< print	tLog.txt >>		
GRP A-01/10 (Current GRP Bank-Num/Max)			
A-01	I01:Harmo Drum	E01:Harmo D.Rev	
+		ł	
GRP A	List Max:10		
*A-01	I01:Harmo Drum	E01:Harmo D.Rev	
A-02	102:Hyper Pot	E02:Hyper P.Rev	
A-03	T03:PSyC0 SKIII	F04:Snanky.Rev	
A-05	I05:Bessel Clone	E05:Bess.DlvP.S	
A-06	I06:Stereo Skin	E06:S.Skin.Ambie	
A-07	I07:Incantation	E07:Incant.PhsPM	
A-08	I08:BassOnBoard	E08:BassOnB.Rev	
A-09	I09:BalaPhonic	E09:BalaPh.DlyPM	
A-10	I10:HarmoVoice	E10:HarmoV.Rev	
GRP B	List Max:10		
B-01	T11:Ouaion	Ell:Ouaion Rev	
B-02	I12:Taikology	E12:TaikologyRev	
B-03	I13:Bamboo Drum	E13:Bamboo Rev	
B-04	I14:Tunnel Drum	E14:Tunnel Rev	
B-05	I15:Framey	E15:Framey Rev	
B-06	116:Goblet Drum	E16:GobletD.Rev	
B-0/	11/:Candeiro	E1/:Candeiro.Rev	
B-00	T10:Snappin Kit	E10: Shappy Rev	
B-10	I20:Paper Drum	E20:Paper D.Rev	
+			

: :



•		📄 printLog.txt 🗠	
+	+	+	F
			=
GRI	P C' List Max:10		_
	01 I61:Enchanted 02 I62:CaveExplorer 03 I63:PrayingGong 04 I64:PunkyDroid 05 I65:Alien'sCuica	E61:Enchnt.Ambie E62:CavExPresRev E63:PryGgPresRev E64:PunkyDrd_DLY E65:AlienCuiTDLY	
	06 166:VolcanoDance 07 167:Harmo-Flare 08 168:CritterYodel 09 169:SlimyStroke 10 170:Drum Whippy	E60:V0lCanD.Rev E67:HrmFlrPdlyPS E68:ParD.PresRev E69:SlmyPresFlg E70:DrmWhip/Wah	
GRI	P D' List Max:10		=
D'(01 I71:Flex-Ambient 02 I72:Underground 03 I72:ClockwiseDrm	E71:FlxAmbRvLev- E72:UdGrdRevLev+	-

1

'n

D'03	I73:ClockwiseDrm	E73:Cloc.DlyP.S
D'04	I74:Tablatron	E74:TblTroDlyTm-
D'05	I75:FaintInCoils	E75:FaintDlyT+
D'06	I76:ThirdEarDrum	E76:3rdEarPhsMn+
D'07	I77:VeggieDrum	E77:MTDlyVegiDrm
D'08	I78:ThunderStorm	E78:MTDlyThunder
D'09	I79:Li'lEmperor	E79:ChorusEmpero
D'10	I80:TribeTriplet	E80:Tribe_DlyP.S

1	• • •] printLog.txt ∽	
-	I01:Ha	armo Drum	=	
	ALGO PNUM	DSP_ALGO_INST 78parameters	- 0, 78,	
	P-01 P-02 P-03	Main In:C50/E50 MainOvt:Natural MainHrmNo.:14 MainTune: 56Hz	- 50, 0, 14,	
	P-04 P-05 P-06 P-07	MainDcay: 2.0sec Main HFD:+0.20 Main DQM: 26	20, 20, 20, 26,	
	P-08 P-09 P-10	Main DFM: +11 Main PFM: +17 MainPSC:0FF	11, 17, 0,	
	P-11	MainMute:ON	1,	

:

2, 16,
2, 16,
0, 000, 000, 50,
100, 25, 100, 25, 40,
180, 4, 50, 100, 100, 1,



3. エディット

下表にエディットするパラメーターと対応する番号のボタンを示します。

表2			
ボタン	パラメーター	設定項目	設定値
1 PITCH	Pitch	音程	16 - 12544 (Hz)
2 DECAY	Decay	音の減衰時間	0.1 - 10.0 (sec)
3 BEND	Bend Range	打面を強く押したときのピッチの 変化量	-100 - 100
4 VOLUME	Master Volume	音量	0 - 127
5 EFFECT	Effect	エフェクトの出力レベル	0 - 100

エディットするには、1から5のボタンを左クリックした状態で、ボタンの位置を外して右クリックすることで、エディット状態に入ります。

1 PITCH を左クリックしたままボタン以外の場所で右クリック



エディット状態、<<と>>>を押すことで値を増減出来る



図 3



エディットが完了したら、1から5のボタンを左クリックすることでエディット状態を抜けます。



エディット後に1 PITCH ボタンを左クリックすると、エディット後の Pitch が表示されます。



図 5



4. ミュート機能

アプリ右下のミュートボタンを左クリックすることで、ミュート機能が ON になります。 再度左クリックするとミュート機能が OFF になります。



ミュート機能 ON の状態では、エンコーダー部が赤色に点滅します。



図 7



5. グループ・キーロック機能

A~Dボタンのどれかを約2秒間クリックしたままにすることで、ボタンが赤色点灯となりグループ選択機能がロックされます。



図 8



ロックの時にクリックしたボタンを再度約2秒間クリックしたままにすることで、ロックが解除されてボタンが元の色になります。



図 10